

アイサンテクノロジー株式会社

2023年3月期 第2四半期決算説明会 質疑録

【日時】 2022年11月16日（水）15:00～16:00

【対応者】 代表取締役社長 加藤 淳

【質問1】

円安が進んでいますが、事業への影響はどうでしょう。

【回答】

海外から仕入調達している商品は値上がりしています。これらは販売価格への転嫁は厳しいものもありますが、適切な価格を確保していきたいと考えています。

【質問2】

昨年度M&Aを実施されましたが、今後もM&Aの予定はあるのでしょうか。ある場合、対象となる業種、規模など、どのようなものを検討しているのでしょうか。

【回答】

当社では昨年初めてM&Aを行い、株式会社三和が当社グループに加わりました。良いシナジーが出始めており、今後さらに大きな効果が出るものと期待しています。経営戦略として現在の中期経営計画期間はもとより、次の中期経営計画期間でも積極的に検討していきたいと考えています。業種としては現在の測量ソフトの関連事業、三次元地図データの生成販売事業とのシナジーが期待できる会社がターゲットとなります。

【質問3】

現在の中期経営計画では、モビリティセグメントについて売上高は小さめの成長だが営業利益率が伸長する計画となっています。その要因は何でしょうか。

【回答】

モビリティセグメントは2025年自動運転サービスの実用化を目指して先行投資を行っています。そこまでは確実に事業を進めていくため、売上高の伸び率としては大きくありません。一方で地図生産にかかるツールを機能向上させるなどで原価低減を図り、利益率は向上させていきます。

【質問4】

次の中期経営計画では更なる飛躍としているが、その成長戦略を教えてください。

【回答】

まず公共セグメントでは、測量関係の新しいソフトウェアと、ソリューションをしっかりと開発してお客様にお届けします。特に三次元計測はニーズが高まっており、うまくニーズをと

らえてソリューションを提案し、売上・利益を伸ばしていきます。モビリティセグメントでは、2025 年自動運転実用化に向けた動きが活発化してきます。そこでチャンスをしっかり捉えていきたいと考えております。

【質問 5】

中期経営計画ではモビリティセグメントの成長率が公共セグメントに比べて小さいが、その要因は何でしょう。

【回答】

モビリティセグメントはまだ研究開発、投資という色合いが強いものです。ただ、投資した分のリターンは確実に取れるよう、特に人財を中心に強化してきたので、期待できるものと判断しております。

【質問 6】

現預金残高が大きい。株主還元や大型投資等、何か予定や検討しているようなものはあるでしょうか。

【回答】

具体的な内容は控えさせていただきますが、これまで第三者割当や純利益などで現預金が積み重なってきました。これをひとつの武器として事業の強化や成長分野への投資を常に検討しており、ぜひ実行していきたいと考えています。

【質問 7】

公共セグメントでは 2024 年 3 月期に売上 39 億、成長のドライバーは何でしょう。

【回答】

公共セグメントのターゲットである測量市場では計測機器にイノベーションが起きています。三次元計測機器として高精度な 3D スキャナ、MMS、ドローンなど高額な計測機器の利用が増えています。そういった機器とソフトウェアを組み合わせたソリューションをお客様に提案していき、しっかりと収益を上げていきます。

【質問 8】

海外でのビジネスチャンスや、海外プレーヤーとの競合などの状況は如何でしょうか？

【回答】

具体的な回答は控えさせていただきますが、これまで海外で地図データの作成業務なども行ってきました。海外のメーカーとの様々なコンタクトもあります。パートナーとなるかというビジネスの相互理解を深められる会社であればしっかりと協議検討していきたいと考えています。

【質問 9】

ロシアのウクライナ侵攻の事業への影響はどうでしょう。

【回答】

具体的に影響がないわけではないと考えています。

半導体不足も関連し、どういう影響が出るか予測しきれない所もあります。しかし、ビジネスにも何かしらの影響がある前提で事業を進めております。

【質問 10】

最近ホンダ等が地図を使わない自動運転の実証実験をしているというニュースを見ましたが、当社が事業として掲げている高精度三次元地図は事業として衰退していくのでしょうか。

【回答】

SLAM など新しい技術で地図を使わず自動運転を行うことも考えられます。ただ用途によって求められる地図の精度は変わります。当社の高精度地図は人を乗せた安全な自動運転に欠かせないものであり、地図が無くなることは考えにくいと思われます。これからも高精度地図のニーズはあると捉えています。

以上